



日本水フォーラム設立 20 周年 決意表明

私たち日本水フォーラムは、この 20 年間、分野やセクターを超えた連携に、一貫して取り組んでまいりました。

政産官学民すべてのセクターの連携による課題解決は、琵琶湖・淀川流域で開催された第 3 回世界水フォーラムで得た学びであり、
日本水フォーラムが世界に先駆けて取り組んできたことです。

私たちは、この 20 年間、関係の皆様のご参画とご支援ご協力により、その使命にまい進し、皆様と共に活動を作り上げることができました。心より御礼申し上げます。

設立から 20 年を経た現在、水利用、衛生、災害、環境、文化といったテーマは、もはや個別に取り組むだけでは不十分です。それらを有機的に結びつけ、包括的な視点で再構築することが、求められています。

私たち日本水フォーラムは、従来からの連携にとどまらず、省庁や関連機関の、より多様な皆様から、直接ニーズや関心を伺い、それに応える形で、新たな価値ある取り組みを推進してまいりたいと考えています。

私たち日本水フォーラムの役割は、水分野において、皆様を繋ぐ架け橋となり、課題解決に向けた協働を促進することです。

私たちが目指すのは、健全な水循環社会を実現することです。実効性のある連携、具体的な手法や先進的な事例、歴史から得られた教訓を活かし、セクター間、さらには世代間の壁を超えた「縦と横のつながり」を強化してまいります。

今後も、皆様と共に、国内外の水分野においてリーダーシップを発揮し、我が国の流域社会や国際社会にとって、価値ある成果を創出してまいります。

引き続き、皆様のご参画、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和6(2024)年 12 月